

序章　本書の課題と構成

主題としての首相政治／本書の構成

第一部 首相政治はいかに形成されてきたか

第一章 現代日本政治の歴史的文脈

010

1 占領期の首相と国会 一九四五～五五⁰¹³

明治憲法体制の宿痾／終戦から憲法改正へ／主要三政党の確立と「ワンマン首相」
議院内閣制の採用と国会運営の特徴

2 自社一大政党の成立 一九五五～六〇⁰²²

保革両陣営の統一／戦後保守政治の確立／社会党の伸び悩み／政策過程の焦点変化

3 政治経済の安定と多党化 一九六〇～七三⁰³⁰

池田勇人の高度経済成長路線／必然的な多党化／経済成長のひずみと終焉／政治のルーティン化

4 与野党伯仲と保守復調 一九七三～八九⁰⁴⁰

与野党伯仲時代の到来／野党間協力の試みと挫折／新中間大衆の時代／保守・中道連携の定着

001

連立と政権交代 一九八九～一〇一二^{o48}

利益政治の爛熟／自民党の分裂と非自民政権／二大政党化への道／内閣機能の強化
政党組織と国会の変容／政権交代の時代へ

第Ⅱ部 首相政治はいかに展開しているか

第一章 新しい権力基盤の形成

^{o67}

1 課題の設定^{o67}

2 大統領的首相論とは何か^{o69}

議院内閣制における首相／大統領的首相の出現／政治の大統領制化／残される疑問

3 比較政治制度論と大統領的首相^{o78}

執政とは何か／大統領制と議院内閣制の多様性／執政制度の統一的理解／「大統領的首相」の再定義

4 日本における首相政治の変容^{o86}

二人の「大統領的首相」／目的の分立に関する変化／メディアおよび世論との関係／直属スタッフとの関係

第三章 首相から見た与党議員と官僚

1 課題の設定 097

2 理論と仮説 099

「強い首相」「官邸主導」とは何か／三つの仮説

3 首相動静データの分析 107

依拠するデータと分析方法／分析と知見

4 小括 123

第四章 与党議員と官僚から見た首相

1 課題の設定 129

2 理論と仮説 131

議院内閣制の類型と委任構造／ウェストミンスター型と歐州大陸型の論理／与党議員が行う委任
委任構造の多様性／旧日本型議院内閣制

3 サーヴェイ・データの分析 ¹³⁹

依拠するデータ／委任構造の変容／委任構造と影響力関係／官僚への委任

4 小括 ¹⁵⁷

第三部 首相政治はどこに向かうのか

第五章 比較の中の首相政治

1 首相政治の現在 ¹⁶³

首相政治と制度／制度変革の意味／実証分析の知見／政権交代の意味

2 首相政治の比較政治学 ¹⁷²

多数主義型民主主義／例外としての参議院／未対応の政党組織構造／責任追及機会の過剰

3 制度分析の意義と課題 ¹⁸¹

個性か制度か／個性のための制度／制度分析の意義／政治のために

あとがき

191

参考文献

197

事項索引

212

人名索引

214